FT 技－42075-E

2024 年 10 月 21 日

技術資料

耐熱シール材「ダンシール-P」について

株式会社古河テクノマテリアル

1. 製品概要

工場、発変電所、ビルなどの壁や床或いは制御盤などを、配管やケーブルが貫通している場合、その部分のシール用として各種のシール材が使用されてきました。これらのシール材のうち、最も一般的に使用されているのがパテ状シール材です。

ダンシール-P（ネグロス電工㈱OEM品「ダンシール P」）」は作業性が良く、簡便なパテ状シール材の特長を生かし、さらに高度の耐炎性、難燃性を付加したシール材です。

通常のシール機能はもとより、火災発生時にも極めて優秀な耐炎性を発揮し、可燃物の延焼防止、煙やガスの漏洩防止など、人体の安全性、設備の保全性をより一層向上させます。

2. 本製品の主要構成材料

表-1 に本製品の主要構成材料を示します。

表-1　本製品の主要構成材料

バインダー	ゴム系充填材など
無機充填剤	水酸化アルミニウムなど
その他	有機繊維・安定剤など

3. 本製品の特性

表-2 に本製品の特性を示します。

表-2　本製品の特性

項目	物性（代表値）
(1)　比重	1.78±0.1
(2)　保管温度	40℃以下
(3)　酸素指数	60 以上（JIS K 7201）
(4)　加熱減量	105～110℃×3hr にて 1%以下（JIS A 5752 参照）
(5)　軟度	51～81 (23℃) (JIS A 5752 参照)
(6)　絶縁性	体積抵抗率（常温）： $3.7\times10^{12}\Omega\cdot$cm
	表面抵抗（常温）： $1.3\times10^{15}\Omega$
(7)　促進耐候性	アーク灯式ウェザオメータ照射 600 時間で外観に異常なし。
(8)　耐ヒートサイクル性	80℃×24 時間、-15℃×24 時間　2 サイクルで外観に異常なし。
(9)　耐煮沸水性	煮沸水浸漬 100℃×48 時間で外観に異常なし。
(10) 耐水性	水道水浸漬（常温）2 年間で外観に異常なし。
(11) 耐塩水性	3%NaCl 水溶液浸漬（40℃×10 日間)で外観に異常なし。
(12) 耐アルカリ性	5%NaOH 水溶液浸漬（常温）600 時間で外観に異常なし。
(13) 耐酸性	5%HCl 水溶液浸漬（常温）600 時間で外観に異常なし。
(14) 金属に及ぼす影響	Al、Cu、Pb、Fe、ステンレス、真ちゅうに付着させて対象に異常なし。（室温×7 日間）
(15) プラスチックに及ぼす影響	ポリエチレン、架橋ポリエチレン、PVC、クロロプレンに付着させて対象に異常なし。

4. 本製品の特長

①耐炎性良好

ダンシール-P は酸素指数 60 以上の難燃パテ状シール材です。また、炎に接すると表面から硬化し、軟化、滴下、脱落などが無い為、良好な耐炎性が長時間持続します。

②気密性良好

平常時は勿論、火災にもパテ状シール材としてのシーリング性能が持続します。

③耐久性良好

ダンシール-P は無機化合物、難燃性有機化合物、有機繊維を配合したパテ状シール材です。また非硬化性ですので、長時間の保存が可能です。

④作業性良好

従来のパテ状シール材と同様に簡便に使用できます。対象物の形状に合わせて自由に成型できます。

⑤付着性良好

金属、プラスチック、ゴムなどにピッタリと付着します。また、被付着物に対する影響（金属の腐食、プラスチックの劣化）もありません。

⑥補修性良好

非硬化型ですので、簡単に除去できます。汚れがなければ、除去後再使用も可能です。

5. 注意事項

・表面に離型紙が貼付されておりますので、使用する時はそれを剥がしてください。
・被着対象物に手によって貼り付け、適宜押し込みながら使用しますが、ダンシール-P 同士の接合部は 5mm程ラップさせ、手で揉んで一体化させます。
・ご使用前に、施工箇所の油分、水分、ちり、ほこりなどを除去してください。
・40℃以下の室内に直射日光を避けて保管してください。
・ダンシール-P は段ボール箱に収納されています。雨のかからない場所に保管してください。
・低温ではかたくなる事がありますが、使用前にあたためるとやわらかくなります。
・高温の環境に長時間さらされると表面が硬化する事がありますが、耐火性能に問題はありません。
・油類に接触するような場所、また常時水に浸るような場所には使用しないでください。
・防火区画貫通部への施工に際しては、各工法の認定書・施工要領書をご確認ください。
・作業時は、軍手や手袋など、適切な保護具を使用してください。
・作業後は手洗いを十分に行ってください。
・目に入った場合には、直ちに流水で洗い流し、医師の診断を受けてください。
・誤って飲み込んだ場合には、直ちに吐き出させて医師の診断を受けてください。
・保管に関しては直射日光を避け、子供の手の届かない室内に保管してください。
・廃棄される場合には、安全データシート（SDS）をご請求頂き、適切に廃棄してください。

6. 安全に関するご注意

ご使用の前に必ず、この「安全に関するご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、あなたやほかの人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

◆ 図記号の意味は、次のとおりになっています。

⚠	注意 ：	気をつける必要があることを表しています。
⃠	禁止 ：	してはいけないことを表しています。
❗	指示 ：	しなければならないことを表しています。

⚠ 警告	⃠	床大開口部施工後は踏み抜きに注意してください。貫通部防火措置部の上に乗ったり重量物を置かないでください。
		子供・幼児の手の届くところに材料部材を置かないでください。
		単心の電力ケーブルが貫通する場合は周囲に鉄系の金具を配置しないでください。
	❗	最大開口面積または直径以下で施工してください。
		ケーブルなどの貫通物種類および貫通物占積率は取扱説明書および認定書・評定書に従ってください。
		取扱説明書または認定書・評定書に従って施工してください。
	⚠	貫通部防火措置部の仕上がり時は隙間のできないように施工してください。
		液体状のものを扱う場合は保護めがねを着用してください。
		繊維状または粉状のものを扱う場合はマスクおよび保護めがねを着用してください。
		床または壁貫通部の近傍に可燃物を置かないでください。
⚠ 注意	⚠	耐熱シール材などのパテを扱う際は保護具を着用してください。
		金具を扱う場合は保護具を着用してください。
		特殊な環境下で使用される場合は事前に相談ください。
		材料は貫通部以外の部分に使用しないでください。
	❗	防水性が要求される場合は別途施工してください。
		ケーブルまたは配管類の支持機能はありません。別途固定支持してください。
		施工完了後は工法表示ラベルを表示してください。再施工時も工法表示ラベルを更新してください。

7. 免責事項

(1)　防火区画貫通部防火措置が認定または評定通りの耐火性能を得るためには、施工品質が大変重要になります。これらを施工するにあたり、認定・評定条件、施工方法をよくご理解いただき、施工者および建物管理者の責任において施工および維持管理していただきますようお願い致します。

(2)　以下のような場合において問題が生じた場合、当社として責任を負いかねますのでご了承ください。

① 認定・評定条件以外の施工を行った場合（個別の取り決めに依る仕様は除く）
② 弊社指定以外の材料を使用した場合
③ 本来の使用目的以外に使用した場合
④ 再通線、改修工事などにおいて、不適切な施工により問題が生じた場合
⑤ 「安全に関するご注意」を守らなかった場合
⑥ 適切な維持・管理が行われていない場合
⑦ 通常の経年変化（使用に伴う消耗、磨耗など）や経年劣化、またはこれらに伴うほこりによる仕上がりの変化の場合
⑧ 周辺環境に起因する場合（例えば、酸性・アルカリ性のガス、異常な高温・低温・多湿、結露など）
⑨ 躯体の変形など、製品以外の不具合に起因する場合
⑩ 犬、猫、鳥、鼠、蛇などの小動物・昆虫やツルや根などの植物に起因する場合
⑪ 犯罪、いたずらなどの不法な行為に起因する場合
⑫ 戦争・紛争・天災その他の不可抗力による場合（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、など）
⑬ 実用化されている技術では予測不可能な現象、またはこれが原因による場合

8. その他

本書記載の内容は、製品改良などのため、お断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。

以上